



令和5年5月12日（金）第3号

『校長室の窓から』

八尾市立龍華中学校発行

龍華中のおと 5/3～5/12

5月3日（水）、東大阪市立中学校運動場で、中河内大会の3位決定戦と決勝戦がありました。私たちの学校は、幸先よく得点を重ねたりよく守備したりし、3位入賞を果たしました。おめでとうございます。保護者の方も喜びのご様子でした。ちなみに、試合中、晴れた青空に、二重の虹が見えていました。

帰宅途中、私は、大きな書店に寄り、文庫本を1冊買いました。小説ならその日のうちに読みたくて読んでしまうことが多いのですが、買ったのは古典と言われるものです。文脈を味わい考え、時には声に出して読みながら、少しずつ読み進めているところです。また、施行されて76年めとなる憲法記念日ということで、日本国憲法前文やいくつかの条文を何度となく読んでいました。皆さんはどんなふうにお過ごしでしたか。

5月8日（月）から始まるこの1週間について、生活委員会と生徒会との共催による「チャイム着席キャンペーン」が始まりました。中央階段踊り場に状況が張り出されています。

5月9日（火）全国学力・学習状況調査のうち、英語「話すこと」調査が3年生対象に、Webシステムを使って行われました。ルーターの容量に関わると思われる予想外のこともありましたが無事に終わることができました。

午後には、眼科検診もあり、50名弱の生徒が受診をしました。

夕方、本校を卒業された大学生が、感謝の思いを伝えに来校されたと聞きました。前日、自転車のチェーンが外れて困っているところを本校生徒に助けてもらった、との内容でした。ありがとうございました。

5月10日（水）6限。八尾市教育委員会のプログラムに沿って、いじめをなくすための学習会が1年生を対象として行われました。いじめの構造において、圧倒的多数である「観衆」や「傍観者」に焦点を当て、すべての子どもがいじめを自分事として捉え、いじめをなくすための主体的な対応について学ぶことを目的に行われました。授業形態は、大学で教える先生とオンラインで結んでのものでした。お子様はそれぞれ感じたものがあつたのではないのでしょうか。

「社会心理学ではいじめが起きたときに周りにいる、加害者でも被害者でもない子どもは『傍観者』と呼ばれています。この傍観者こそがカギを握っているといえます。傍観者はいじめ事案の8割以上に存在していることが研究でわかっています。傍観者の74%は加害者に同調するような態度を示しますが、いじめを面白がっているのは30%にとどまります。更に傍観者がいじめを止めるために行動すると、57%のいじめが10秒以内に収まったことが報告されています。」（5月6日に放送されたNHKスペシャル「いじめから逃げない 3年2組4か月の挑戦」ナレーション抜粋。NHK+で、5月13日21時49分まで視聴することができます。）

いじめをなくすための学習の様子を見学に来られた市教育委員会の方々は、「生徒の落ち着き具合や動画をしっかりと観る姿勢、グループで話し合う段では、すぐさまそのテーマについて意見を交わし合うところなどがすばらしい。掲示物も入学後1か月で丁寧にされている」と、お褒めの言葉をいただきました。

5月11日（木）。今日も外部から本校の授業での生徒の様子を観るための訪問者があり、3限に教室等にお邪魔させていただきました。授業にきちんと向き合っている様子やめやす（授業のねらい）が書き記されていることなどの感想をいただきました。

各教室にあります→

めあて

また、午後には、数日に分けて行っている内科健診もありました。

5月12日（金）、尿検査（二次）提出がありました。春は、健診の季節です。気づいていない体の不具合が、検査を通して見つかることがありますので、医師や機関に検査していただけるこれらの機会を大切にいただきたいと思います。

昨日、熊本市の中学校で体育祭練習中に熱中症の疑いで救急搬送されたというニュースがありました。ここ数年のデータでは、5月下旬になると最高気温が30度を超える真夏日も珍しくなくなっています（九州大学竹村俊彦主幹教授）。熱中症はたいへん危険なものであり、死亡事故や臓器等の後遺症も報告されています。まだまだ暑さに体が慣れていない時期でもあります。適度な休養と適切な水分補給をされ熱中症にならないようお気をつけてください。